

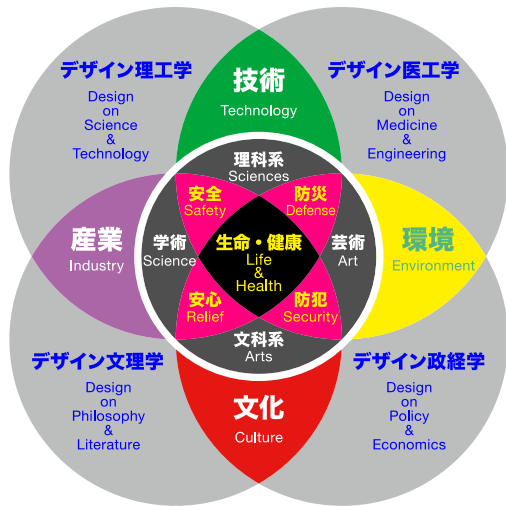
www.kazuokawasaki.jp



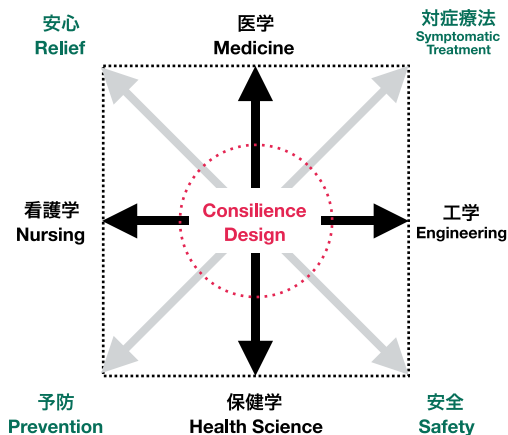
Kazuo Kawasaki Emeritus Prof., Ph.D.
©Consilience Design Interdisciplinary Studio,
Graduate School of Medicine, Osaka University
& OUZAK DESIGN FORMATION

Consilience Design

Kazuo Kawasaki



silience · consilience · consilience design



「Designとは、問題解決・価値創出・未来創成」という定義を明確にするために、実務家デザイナーである川崎和男は、文科系+理科系、学術系+芸術系の融合と統合を目指してコンシリエンスデザインConsilience Designを提唱する。

Consilience Designとは

*Silience - "Consilience - "Resilienceを文脈とする造語である

本講座での学術と芸術の統合は「規模的な統合・文化的な統合・ネットワーク的な統合・機能的な統合」として、デザインの基礎的な意味を明解にしている。日本は、March11.2011=3.11東日本大震災で国土の3分の1を失った。日本は今や先進国家であるが、敗戦国家として広島・長崎での被爆経験と国家消滅を体験してきた。さらに大震災、大津波の天災と人災である福島原発事故では、原子力利用で脱原発から再生可能エネルギーという科学的な否定性までを呼び込んだ。続いた熊本地震でも壊滅的な被害を受けている。あらためて学術性の真善美と経済性・産業性での教育システムの見直しが当然となっている。よって、この「学際化」を促し、特に人材養成、その維持とその実務を具現化するのは「コンシリエンスデザイン」であると考える。やがて100億人の人口を突破する地球環境における気候異変と感染症増大、エネルギー問題をデザイン・医学・保健学・看護学・工学の統合=コンシリエンスデザインで、解決に導きたい。それは新たな超資本主義や超民主主義を革新するための大学機関の創成になると判断している。

-セルロース素材ベースでの核変換や新結合素材での危機対応
-フォトリソス応用の医療機器からシステムデザイン
-危機対応の避難器具から動体装置の開発
-循環器・消化器・脳外科用の再生医療システム開発
-次世代看護・介護用機器の研究・開発と「安心」制度設計
-人工臓器群と再生医療との融合・統合開発
-範健康のための生活支援機器の研究・製品開発と商品展開
-開発途上国向け感染症検査機器のBOA産業創成の開発提案

*Silience : n. the kind of unnoticed excellence that carries on around you every day, unremarkably—the hidden talents of friends and coworkers, the fleeting solos of subway buskers, the slapdash eloquence of anonymous users, the unseen portfolios of aspiring artists—which would be renowned as masterpieces if only they'd been appraised by the cartel of popular taste, who assume that brilliance is a rare and precious quality, accidentally overlooking buried jewels that may not be flawless but are still somehow perfect.すでに古語となっているSilienceには上記の意味があるが、それはきわめて市井的で匿名的な「知恵」を示している。

*Consilience : 鉱山学者であったWilliam Whewell(1794-1866)による造語。学者はすべからず博物学に精通するべきとの考えから、ScientistやPhysicianを造語したごとく、理科系+文科系を融合した学術全体を造語した。この造語をベースにして、昆虫学者Edward Osborne Wilson(1929-)は社会生物学など広範な学術+芸術を統合するためにConsilience理論を展開した。

*Resilience : どんな状況にあっても精神的に、強靱であることを意味している。Consilienceであるための基盤的な精神力である。

The definition of “consilience design” is, plainly speaking, to “interdisciplinaryize” the fusion, combination, and integration of scientific nature and artistic nature in arts and the sciences. The target of consilience design is to solve problems and crises utilizing new designing language and designed language created through interdisciplinary education and research. However, no universities in or outside of Japan have educational courses or research institutions of consilience design. The original concept of consilience was only the “fusion” of arts and sciences; however, consilience design specifically means interdisciplinaryization through the combination and integration of the science and art in arts and the sciences.

Unfortunately, one third of all areas in Japan were affected by the Great East Japan Earthquake that struck on March 11, 2011(Fukushima) and April 16, 2016(Kumamoto). Japan is a developed nation that has been subjected to the atomic bombing of Hiroshima and Nagasaki and experienced the vanishing of the State as a defeated nation. In addition, the natural disasters of the Great East Japan Earthquake and the tsunami, and the human disaster situation created by the Fukushima nuclear disaster invited scientific denial of the abandonment of nuclear power and the practical application of renewable energy that uses the help of nuclear power. This situation justifies reforming academic goodness, truth and beauty, and the education systems of economy and industry. We think, therefore, that what promotes the interdisciplinaryization required for such reformation, especially for the realization of development and maintenance of human resources, as well as the realization of their practical affairs, is consilience design.

The present global environment, which will hold 10 billion people in the future, is awaiting climate anomaly, an increase of infective disease, and energy problems. The solution for the circumstances is, according to my judgment, the creation of universities that innovate in super-capitalism and super-democracy, and their creation will be carried out by reforming the integrity of the academy and arts and designing medical-engineering collaboration for problem solving, security, and safety using nursing, health science, and medical science as the matrix. Accordingly, ideas, description, and communication are the bases of design education. We will summarize the investigation and examination of ideas and the consideration and intention of descriptions in semiotics. This will consolidate the evolvability of mathematical scientific linguistic theory into the interdisciplinarity of academy and art. The purpose and target of the approach is to bring full interdisciplinarity based on medical science to education and studies of problem and crisis solutions with consilience design, and practical education will be provided by training educators in communicative competence in designing and using designed languages.



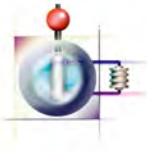
Consilience Design Interdisciplinary Studio

大阪大学 大学院医学系研究科 コンシリエンスデザイン看護医学寄附講座

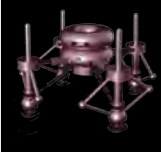
TAH
Total Artificial Heart



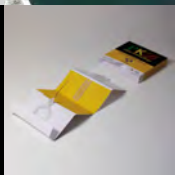
Energy
Atomic engine and battery



Robotics
Mai, Vo-Cal and Odori
Humanoid, Mechanoid



PKD
Peace-Keeping Design



「KK適塾」は「コンシリエンスデザイン」によって、
「基幹産業」の創成をめざしています。

わが国は貿易立国です。
資源の無い日本は「モノづくり」に知恵を結集してきた国民です。
現在は、3.11の未曾有の天災人災被害、
予知される島国日本の大災害、
「基幹産業」の喪失を抱える日本。

ところが、
イノベーション・デザイン思考・IoT・Big Data・AIなどが
引用や盗用された喧噪さで、
さらに未来を見失っています。

何が「コンシリエンスデザイン」となって
私たちに美しい未来計画を創らせるでしょうか。

「KK適塾」が主導します。

「適塾」

かつて土農工商という身分制度を度外視した懷徳堂という寺子屋は、
緒方洪庵が率いる「適塾」となり、そこからは、幕府制度を廃絶し、
明治維新をもたらす橋本左内や、福澤諭吉などを輩出しました。
医学学校だった「適塾」は、大阪大学の創設につながったのです。

講師陣



生田幸士
東京大学大学院
情報理工学系研究科 教授



石黒浩
大阪大学 特別教授
ATR石黒浩特別研究室 室長



大野ゆう子
大阪大学大学院
医学系研究科保健学専攻
教授



河北秀也
アートディレクター
東京藝術大学 名誉教授



北川原温
東京藝術大学 教授
(株)北川原建築都市研究所
主宰



坂井直樹
(株)ウォーターデザイン
代表取締役



澤芳樹
大阪大学大学院
医学系研究科 教授



澄川伸一
澄川伸一デザイン事務所
代表
大阪芸術大学 客員教授



太刀川瑛弼
NOSIGNER 代表
特別招聘准教授



内藤廣
建築家
東京大学 名誉教授



長谷川秀夫
宇宙工学者
大阪大学 招聘教授
博士(工学)・東京大学



濱口秀司
monogoto, CEO,
zabo design, Executive Fellow
大阪大学 招聘教授



原雄司
(株)ケイズデザインラボ
代表取締役社長



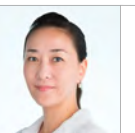
松岡正剛
(株)ハース実験デザイン研究所
代表取締役
編集工学研究所 所長



村田智明
(株)ハース実験デザイン研究所
代表取締役
京都造形芸術大学 教授



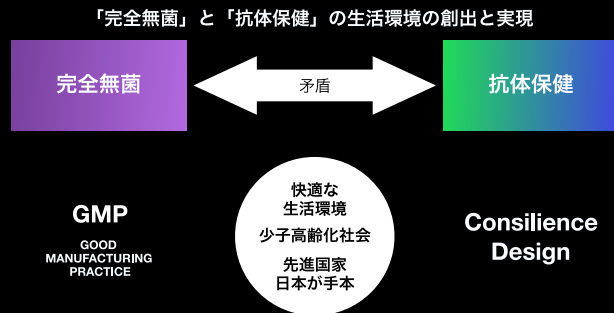
川崎隆章
株式会社NASA
ラジオディレクター



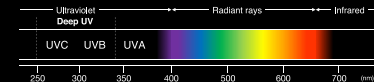
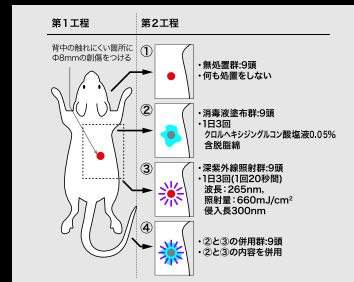
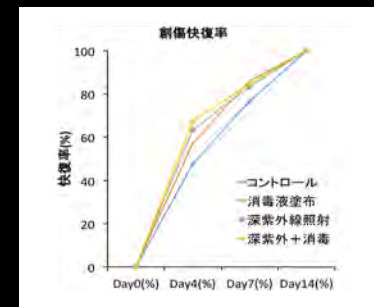
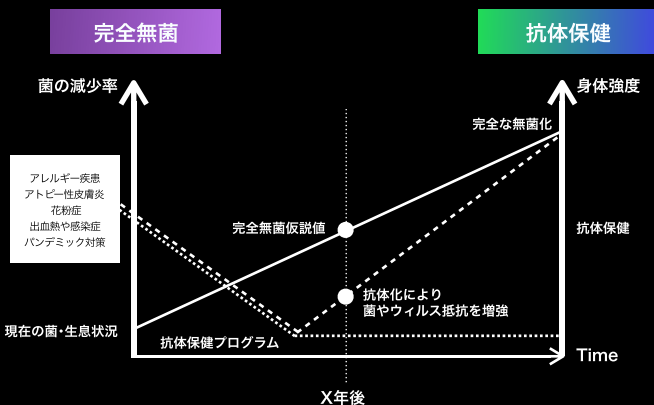
内田まほろ
日本科学未来館
展示企画開発課長
キュレーター



「コンシリエンスデザインによる完全無菌と抗体保健」

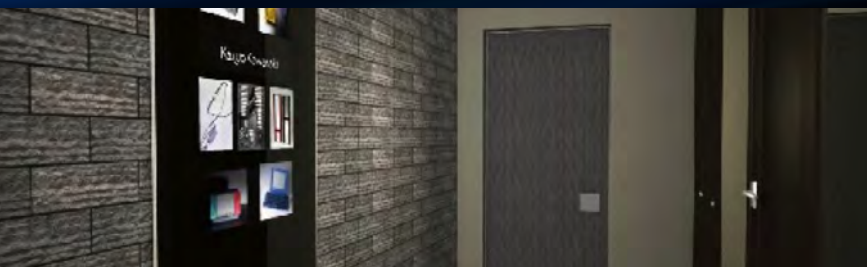
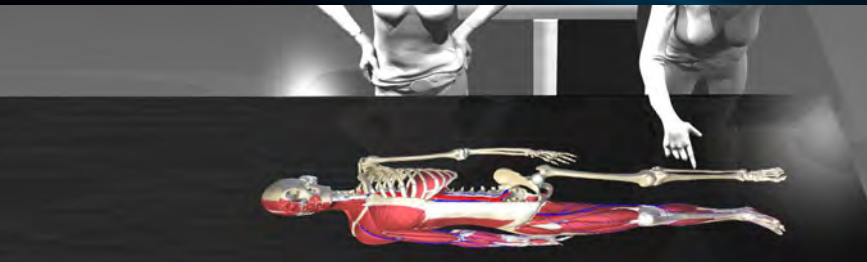
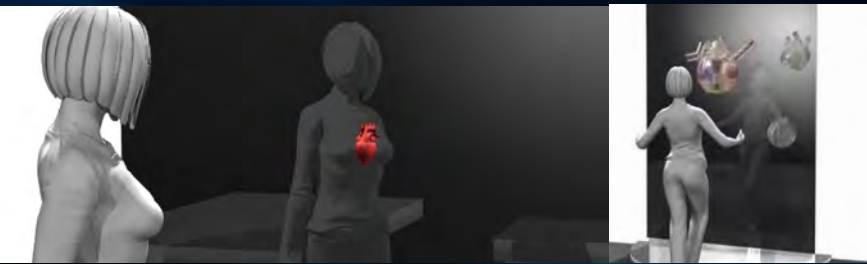


病氣=患者 反健康 Impairment	Medical Care	医学・医療 国家・制度 管理	医療環境	終末医療
一病息災 半健康 Disability	Health Care	医療・社会 介護管理	社会環境	救急医療
模範的丈夫 範健康 Handy-cap	Life Care	自分管理	生活環境	日常保健



Deep Ultraviolet sterilization

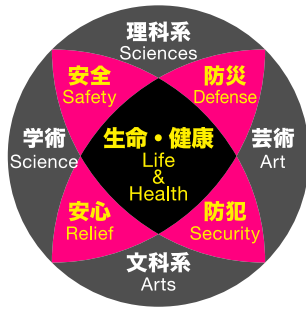
感染症の予防のためには感染経路の遮断が重要である。飛沫感染、飛沫核感染(空気感染)、接触感染の三つの経路があり、喉と手指の消毒は極めて有効である。フォトニクス技術(深紫外(Deep Ultraviolet: DUV)光等)の優れた面やウイルスの殺菌能力と深紫外LED等の開発による小型化、長寿命、高殺菌力、防滴仕様等商品化領域が拡大されている。現在、大腸菌を対象とした殺菌効果確認実験および創傷を持つラット(36匹)を対象に動物実験を実施を終了し、製品化・商品展開を計画中である。



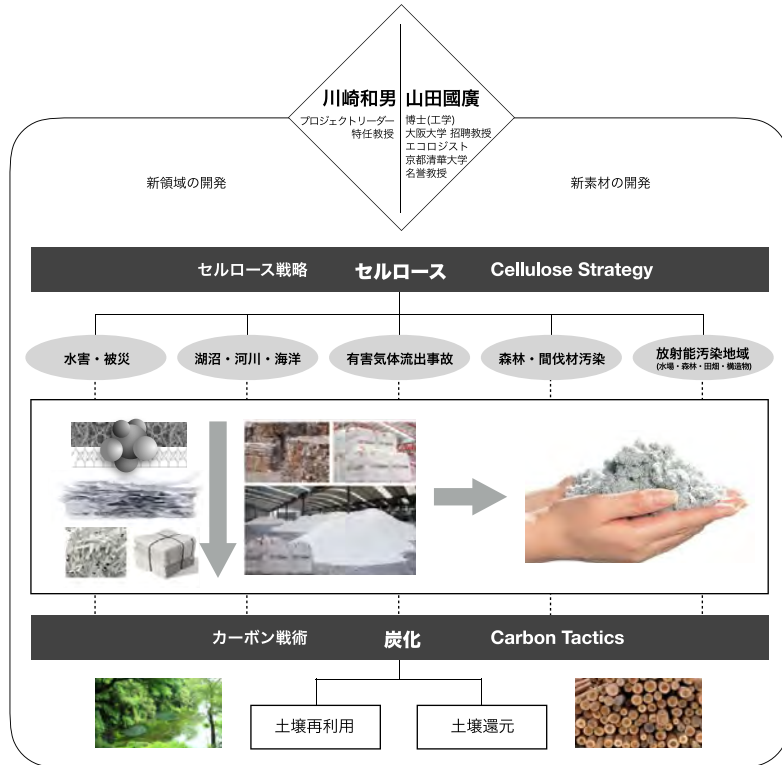
Digital Assemblage



Analog Assemblage



Cellulose SMILE!!!



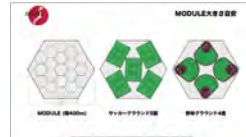
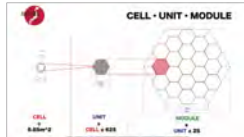
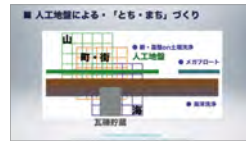
■ Designの意味 : 問題解決・価値創出・未来創成

- 問題解決: 「応答商品」・「回答商品」・「解答商品」にスター商品・金儲け商品・問題児商品・負け犬商品を明確化する
- 価値創出: 「望ましい商品」と「好ましい商品」を商品別する生産・流通・消費・回収・リサイクルを決定する
- 未来創成: 「明日がより良い生活」＝目の前に未来は無いことからの発想を産業化

■ Business Design Modelの創出

- 問題解決・価値創出・未来創成による企業進化・ブランド化・性能・効能・機能を「製品企画」から「商品計画」まで





■ ストレス(=心的障がい)を乗り越える

レジリエンスとは、ストレスでやる気を失わせることへの対応手段です。
今回また大きな天災を知りました。
3.11天災人災の教訓はもとより、
改めて、ストレスがあるからこそ、精神的にも強靱な前向きな態度になれることを
「レジリエンスデザインチーム」が支援することを目指します。

愛知県立芸術大学・横浜国立大学・岡山県立大学・お茶の水女子大学・京都市立芸術大学・京都清華大学
九州大学・慶應義塾大学・滋賀県立大学・芝浦工業大学・仁愛女子短期大学・崇城大学・静岡県立大学
千葉大学・早稲田大学・多摩美術大学・大阪産業大学・大阪大学・筑波大学・中央大学・東海大学
東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京教育大学・東京経済大学・東京芸術大学・東京造形大学
東京大学・東京理科大学・東北芸術工科大学・奈良女子大学・武蔵野美術大学・放送大学大学院
名古屋工業大学・名古屋市立大学・明治学院大学・明治大学・金沢美術工芸大学・滋賀医科大学・女子美術大学



Kazuo Kawasaki, Ph.D.

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科

「コンシリエンスデザイン看護工学寄附講座」 特任教授

デザインディレクター・博士(医学)

大阪大学 名誉教授

名古屋市立大学 名誉教授

多摩美術大学 客員教授

1949年福井市生まれ。

3.11天災・人災を機に気候異変と感染症増大に対して、次世代デザインとして問題解決の実務「コンシリエンスデザイン」を国際的に発信する。

グッドデザイン賞審査委員長、毎日デザイン賞など国内外での受賞歴多数。

ニューヨーク近代美術館など国内外の主要美術館にパブリックコレクション多数。

『Newsweek日本版』の「世界が尊敬する日本人100人」に2度選ばれる。

コンシリエンスデザインによる世界平和構築をめざして

「Peace-Keeping Design(PKD)」デザイン運動を提唱。

- Design Director
- Eminent scholar
- Doctor of medical science
- Emeritus Professor of Osaka University
- Emeritus Professor of Nagoya City University
- Visiting Professor of Tama Art University

- 1949 Born in Fukui, Japan

- Graduated from Kanazawa College of Arts

As a design director mainly on an industrial design and product design, he is engaged an active part in widely from traditional crafts to glasses, interior goods, machinery implementation design and computer development. He specializes in design development by media integration technique utilizing 3D-CAD/CAM, design of Artificial Organs by medical science and a theory of Topology and practice of corporation design strategy. He was selected in "100 Japanese respected by the WORLD" of NEWSWEEK JAPAN twice. Now he is leading Peace Keeping Design (PKD) project that aims the world peace by the power of design.

[Kazuo KAWASAKI's official Blog](http://www.ouzak.co.jp/blog/)

URL - <http://www.ouzak.co.jp/blog/>



- | | |
|----------------|--------------------------|
| 「デジタルなバサージュ」 | 「DESIGN ANTHOLOGY」 |
| 「プラトンのオルゴール」 | 「ドリームデザイナー」 |
| 「デザイナーは喧嘩師であれ」 | 「プレゼンテーションの極意」 |
| 「デザインは言語道断！」 | 「artificial heart:川崎和男展」 |
| 「デザインの極道論」 | 「倉俣史朗のデザイン 夢の形見に」 |
| 「デザインという先手」 | 「川崎和男Design」 |

